

令和5年度 高等部1～3年（Ⅱ課程B） 国語年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
152		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。 (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	19	(知及技) 言葉の響きやリズムに親しみ、身近なものの言葉の正しい読み方を知る。 (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことを通して、言葉を思い付いたり、考えたりすることができる。 (学・人) 言葉を楽しみ、いろいろな言葉を思い付いたり、考えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 言葉の響きやリズムに親しみ、身近なものの言葉の正しい読み方を知っている。 (思・判・表) 見聞きたり、経験したりしたことを通して、言葉を思い付いたり、考えたりしている。 (主学) 言葉を楽しみ、いろいろな言葉を思い付いたり、考えたりしようとしている。	いろいろな言葉	・「はじまりのうた」「あいうえおのうた」をリズムに乗せて読む。 ・自分の名前のひらがながつく言葉集めをする。 ・ひらがな(言葉)ビンゴカードを作る。
	20	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。 (学・人) 言葉を通して、自分の思いや考えを伝えようとする態度を養う。	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れている。 (思・判・表) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えている。 (主学) 言葉を通して、自分の思いや考えを伝えようとしている。	経験したことを伝えよう①	・就業体験のことを思い出し、自分が体験したことを言葉で表現したり写真にコメントをつけてまとめたりする。 ・発表し、伝え合う。
	19	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力) 挨拶の決まった言い方を使うことができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じ、丁寧に書くようとする態度を養う。	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表) 挨拶の決まった言い方を使っている。 (主学) 言葉がもつよさを感じ、丁寧に書くようとしている。	暑中見舞い	・暑中見舞いを書く。
2 学期	20	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知る。 (思判表力) 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事などの話の大体を聞き取ることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しもうとする態度を養う。	(知・技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知っている。 (思・判・表) 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事などの話の大体を聞き取っている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しもうとしている。	物語に親しもう	・いろいろな絵本や物語に触れ、興味関心のあるお話を見つける。 ・簡単な絵本の読み聞かせを聞いて、登場人物や大体の内容について捉える。 ・簡単な台詞やペープサート等で演じる。
	20	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 (学・人) 言葉を通して、自分の思いや考えを伝えようとする態度を養う。	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れている。 (思・判・表) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書いている。 (主学) 言葉を通して、自分の思いや考えを伝えようとしている。	経験したことを伝えよう②	・就業体験や修学旅行について伝えたいことを考え、言葉で表現したりパワーポイントにまとめたりする。 ・発表し、伝え合う。
	20	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力) 挨拶の決まった言い方を使うことができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じ、気持ちを丁寧に伝えようとする態度を養う。	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表) 挨拶の決まった言い方を使っている。 (主学) 言葉がもつよさを感じ、気持ちを丁寧に伝えようとしている。	年賀状	・年賀状を書く。
3 学期	17	(知及技) 目的に合った筆記具を選び、書くことができる。 (思判表力) 書きたい語句や文字を見付け、それに対して感じたことを伝えることができる。 (学・人) いろいろな筆記具に親しもうとする態度を養う。	(知・技) 目的に合った筆記具を選び、書いている。 (思・判・表) 書きたい語句や文字を見付け、それに対して感じたことを伝えている。 (主学) いろいろな筆記具に親しもうとしている。	新しい年を迎えて	・筆で線を描いたり、文字を書いたりする。 ・新年にふさわしい言葉や今年の目標を筆で書く。
	17	(知及技) 出来事や経験したことを思い出し、自分の思いを伝えることができる。 (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 (学・人) 出来事や経験したことを伝え合い、相手の思いを受け止めようとする態度を養う。	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れている。 (思・判・表) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書いている。 (主学) 出来事や経験したことを思い出し、自分の思いを伝えようとしている。	1年を振り返って	・1年間の出来事を思い出し、思い出のアルバムとして写真にコメントをつけてまとめる。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1～3年 (Ⅱ課程B) 社会 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
26		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身につけることができる。(中1段階) (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結びつけて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(中1段階) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中で役割を果たすための知識や技能を身につけることができる。 (思判表力) 集団生活において何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現することができる。 (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけることができる。	(知・技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中で役割を果たすための知識や技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 集団生活において何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現しようとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけようとしている。	①社会参加とときまり	①「生活体験や校内実習の事前、事後学習(調べ学習、掲示物作成、反省、感想作成)」 ・学習することを教師と一緒に確認し、みんなに伝える。また学習したことを写真などで振り返りながらまとめて、みんなに伝える。
		(知及技) 安全や防災に関する知識や技能を身につけることができる。 (思判表力) 安全や防災に関する基礎的な知識や技能について理解し、考えたことを表現することができる。 (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけることができる。	(知・技) 安全や防災に関する基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 安全や防災に関する基礎的な知識や技能について理解し、考えたことを表現しようとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけようとしている。	②地域の安全	「火災避難訓練」 「地震・津波避難訓練」 ・教師と一緒に避難をすることができ、安全な避難行動の習慣化を図る。
2 学期	10	(知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができるようにする。 (思判表力) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようすることができるようにする。 (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を分かるようにしている。 (思・判・表) 身近な生活に関する制度を分かるようにしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さに気付き、取り組もうとしている。	⑤公共施設と制度	⑤「校外学習」 ・社会の仕組みやマナー、公共施設の利用方法について知り教師と一緒に体験する。
		(知及技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを分かつとする。 (思判表力) 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることを分かつとする。 (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。	(知・技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを分かつとしている。 (思・判・表) 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることを分かつとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さに気付き、取り組もうとしている。	①産業と生活	①「買い物学習」 ・決められた金額内で何を購入するかを教師と一緒に考える。また店内で品物を購入する際に店員へお金を渡し、品物とレシートを受け取る流れを学習する。
3 学期	6	(知及技) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話をしようとする。 (思判表力) 身近な人との接し方などについて知ろうとする。 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとして、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。	(知・技) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話をしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との接し方などについて知ろうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会及び自然に自ら働きかけたり、意欲や自信をもって学んだりして、生活に生かそうとしている。	③人との関わり	③「交流学習」 ・教師の支援を受けながら、同世代との適切な関わり方を実践する。
		(知及技) 簡単なきまりやマナーについて知ることができるようにする。 (思判表力) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする。 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとして、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。	(知・技) 簡単なきまりやマナーについて知ろうとしている。 (思・判・表) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 選挙の仕組みについてや、周囲の友達に興味を持とうとしている。また、ルールを守って投票しようとしている。	④社会参加とときまり	④「生徒会選挙」 ・選挙管理委員会が発したルールを守って、投票できるようにする。
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
154		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		【知識及び技能】100までの数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに加法、減法の意味について理解し簡単な計算ができるようにする。(小・3段階) 【思考力、判断力、表現力等】身のまわりのものの形に着目し、ぴったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考えることができる。(小・3段階) 【学びに向かう力、人間性等】数学的活動の楽しさやよさに気付き、関心や興味を持ち、数学で学んだことを生活や学習に結びつけてよりよく問題を解決や活用しようとする態度を養う。(小・3段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
年間通して指導する		(知及技) 100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。…A数と計算(A) (思判表力) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。…A数と計算(I) (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。…A数と計算(U)	(知・技) 100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大きさを比べようとしている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大ききの表し方について考えようとしている。 (主学) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大ききの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	【A 数と計算】 100までの数を5ずつや10ずつのまとまりで数えよう。	・100までの数を数詞を唱えたり、個数を数え、数の系列を理解できるように穴あき問題に取り組む。 ・提示された絵を5ずつや10ずつなどでまとめ、その絵がいくつあるのかを数える。	
	1学期	54	(知及技) 100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。…A数と計算(A) (思判表力) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。…A数と計算(I) (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。…A数と計算(U)	(知・技) 数の大きさを比べようとし、加法、減法が用いられる場合について理解し、式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見つけ出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (主学) 数量に関心をもち、積極的に数字を使おうとしたり、活動に参加しようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	【A 数と計算】 20までの足し算・引き算を計算してみよう。	・いくつかの種類の実物大の果物を使いながら20までの数の足し算、引き算をイメージしていく。 ・ $2-2=$ など、同数の引き算の答えがどうなるのかをとおして、0について考えていく。 ・電卓を使って、ワークシートを解いていこう
	2学期	57	(知及技) ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとするについての技能を身に付けるようにする。…B図形A(A) ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すようにすることについての技能を身に付ける。…B図形A(U) (思判表力) 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を考え、表現する力を養う。…B図形I(U) (学・人) 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。…B図形(U)	(知・技) 同じ色や形カード、大きさに着目して選ぼうとしている。また、ものを目的や用途に分けて箱に入れたり、同じ仲間の絵カードを前後、左右、上下などの言葉を用いて組み合わせようとしている。 (思・判・表) ものを色や形、大きさに着目し、違いや共通点のみつけ、分類しようとしている。 (主学) 身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を使い、形や色で分類したり、集めたりしようとする。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	【B 図形】 ・周りのものの形観察 ・丸、三角形、四角形 ・形カード(○△□)を分類しよう ・お金を分類しよう	・身の回りのものを、形(丸、四角、三角)毎に分類する。 ・大きさが異なる様々な種類の物(○△□)を用意し、操作する活動を行い、同じもの同士を集める。 ・ものの形に注目し、似ている部分や異なる部分を確認する。 ・硬貨と名称を一致させながら確認する。 ・商品の値札に硬貨の写真を貼り、実物の硬貨を重ね、形や色を比べる。 ・硬貨を種類毎にトレーに入れ分類する。 ・提示された枚数の硬貨を取る。

	57	<p>(知及技) 身の回りにある長さ、広さ、かさなどの大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量と比較することについての技能を身に付けるようにする。…C測定ア(イ) (思判表力) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現する力を養う。…C測定イ(ア) (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。…C測定ウ)</p>	<p>(知・技) 長さ、重さ、高さ及び広さを視覚的に捉えようとしている。また、言葉の意味を理解しようとしている。 (思・判・表) 五感を使って、量の大きさを感じようとしている。 2つの量を比べる際、一方を規準にして相対的に比べようとしている。 (主学) 自ら2つの具体物を持ち、見たり重ねたりしようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。</p>	<p>【C 測定】 ・大きさの比較 ・図形を使った比較 ・周りのものの大きさ観察 ・時計をよむ</p>	<p>・鉛筆やリボンのひもなど、視覚的に長い・短い分かる長さの物を使って、直接見比べる。 ・同じ大きさ、同じ色のバケツを用意し、片方に砂をたくさん入れ、量を感じ覚的に捉える。 ・級友や職員と背比べをし、高い・低いを感じ覚的に捉える。 ・広さの違いをジャージを用意し、人数を変えながら実際に座ることで、広い・狭いを捉える。 ・長いを意識し、何時をよむことができる。</p>
3 学 期	43	<p>(知及技) 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて図に表して整理したり、それらと比較して読み取ることについての技能を身に付ける。…Dデータの活用ア(ア) (思判表力) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、表に置き換えて簡潔に表現する力を養う…Dデータの活用イ(ア) (学・人) 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現すること…Dデータの活用</p>	<p>(知・技) 身近な天気などを中心に○×などの簡単な記号に置き換え、表に表そうとしている。 (思・判・表) 身近な図書貸し出し冊数や身長体重などに興味をもち表を作成し、その表の意味を理解し、表から特徴を読み取ろうとしている。 (主学) ○×の意味が分かり、身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価す。</p>	<p>【D データの活用】 ・身長体重の表を作る ・○×表 ・目標達成シートを作ろう ・集計・グラフ ・調べてみたい項目について ・集計しよう</p>	<p>・高校生になってからの身長体重の変化を表にシールを貼り、その変化を読み取る。 ・晴れた日を○、それ以外を×とし、今年度の月の天気変化を表に表し、比べることができる。 ・図書貸し出し冊数を月別に表に表し、集計することができる。</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・主に小学部3段階を想定 ・学習指導要領「数学科」における領域と学期を対応させて作成(1学期:A数と計算 2学期:B図形 C測定 3学期:Dデータの活用) ・3年間スパンで計画する。(II課程Bに関して)指導要領の目標で扱っていないところから優先的に目標を設定する。 ・行事や各教科と関連付けて学習内容を設定する。特に校内実習での金銭指導の中に、お金に関する併せた指導を行う。 ・全単元を通して、真理を探究して新しい物を生み出そうと努める態度を育てている【真理の探究】</p>				

令和5年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程B）理科 年間指導計画

配当時数	教科書/副教材等	担当者
31		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) (特別支援学校 小学部 生活科 3段階) ・活動や体験の過程において自然の特徴や変化に気付くことができる。 (思判表力) (特別支援学校 小学部 生活科 3段階) ・自然と自分の関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。ことができる。 (学・人) (特別支援学校 小学部 生活科 3段階) ・自然に自ら働きかけようしたり、意欲や自信を持って学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 ★関連項目	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・植物を栽培して、日々の生長や変化に気が付くことができる。 (思判表力) ・植物の生長について感じたことを表現することができる。 (学・人) ・植物の栽培に関心をもち、活動に参加することができる。	(知・技) ・植物を栽培して、日々の生長や変化に気が付く。 (思・判・表) ・植物の生長について感じたことを表現しようとする。 (主学) ・植物の栽培に関心をもち、活動に参加しようとする。	・野菜の収穫と栽培 ★小学部3段階生活科(サ)生命・自然	・野菜の栽培 ・生長の観察 ・水やり ・土に触れる
	5	(知及技) ・自然と触れ合い、花や葉の色や形に気が付くことができる。 (思判表力) ・身近な自然の特徴や変化について感じたことを表現することができる。 (学・人) ・身近な自然に関心をもち、活動に参加することができる。	(知・技) ・自然と触れ合い、花や葉の色や形に気が付く。 (思・判・表) ・身近な自然の特徴や変化について感じたことを表現しようとする。 (主学) ・身近な自然に関心をもち、活動に参加しようとする。	・自然との触れ合い ★小学部3段階生活科(サ)生命・自然	・校内にある葉や花を集めてみよう ・押し花作り
2 学期	6	(知及技) ・季節の特徴や変化に気が付くことができる。 (思判表力) ・屋外を散策して感じたことを表現することができる。 (学・人) ・季節に合わせた衣服を選ぶ等、生活に生かすことができる。	(知・技) ・季節の特徴や変化に気が付く。 (思・判・表) ・屋外を散策して、感じたことを表現しようとする。 (主学) ・季節に合わせた衣服を選ぶ等、生活に生かそうとする。	・季節の変化と生活 ★小学部3段階生活科(サ)生命・自然	・季節の行事 ・天気と気温の変化 ・植物の変化 ・校内散策 ・校外散策
	6	(知及技) ・生き物が育つ様子を観察し、日々の成長や変化に気が付くことができる。 (思判表力) ・生き物を観察して、感じたことを表現することができる。 (学・人) ・身近な生き物に関心をもち、活動に参加することができる。	(知・技) ・生き物が育つ様子を観察し、日々の成長や変化に気が付く。 (思・判・表) ・生き物を観察して、感じたことを表現しようとする。 (主学) ・身近な生き物に関心をもち、活動に参加しようとする。	・生き物の観察 ★小学部3段階生活科(サ)生命・自然	・屋外の生き物の観察 ・生き物に触れよう ・動物の飼育 ・植物の栽培
3 学期	4	(知及技) ・風で物を動かすことができることに気が付くことができる。 (思判表力) ・風の力や働きについて感じたことを表現することができる。 (学・人) ・風の力や働きに関心をもち、活動に参加することができる。	(知・技) ・風で物を動かすことができることに気が付く。 (思・判・表) ・風の力や働きについて感じたことを表現しようとする。 (主学) ・風の力や働きに関心をもち、活動に参加しようとする。	・風の力の働き ★小学部3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き	・風揚げ作り ・風車作り
	4	(知及技) ・光や音の力や働きについて気が付くことができる。 (思判表力) ・光や音の力や働きについて感じたことを表現することができる。 (学・人) ・光や音の力や働きに関心をもち、活動に参加することができる。	(知・技) ・光や音の力や働きについて気が付くことができる。 (思・判・表) ・光や音の力や働きについて感じたことを表現しようとする。 (主学) ・光や音の力や働きに関心をもち、活動に参加しようとする。	・光や音の性質 ★小学部3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き	・スヌーズレン ・糸電話作り
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 高等部 1～3 年 (ⅡB課程) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
85	「音楽☆☆☆」、「音楽☆☆☆☆」等	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	11	(知及技) 教師や友達と一緒に声を合わせて歌うことができる。 (思判表力) 曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付くことができる。 (学・人) 教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に声を合わせて歌っている。 (思・判・表) 曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付き、表情や声で自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動に興味をもち、教師と一緒に取り組もうとしている。	「発声の仕方に気をつけて歌おう」	「発声の仕方に気をつけて歌おう」 ・発声練習を繰り返し行う。 ・行事の歌や既習曲(校歌・友だちになれたらいいな・翼をください等)を歌う。
	9	(知及技) 身近な打楽器を鳴らすことができる。 (思判表力) 様々な楽器に触れていく中で、自分に合った楽器や演奏方法を教師と一緒に見つけることができる。 (学・人) 音遊びを通して音の面白さに気付くことができる。	(知・技) 様々な楽器に興味をもち、音を鳴らそうとしている。 (思・判・表) 様々な楽器に触れていく中で、自分に合った楽器や演奏方法を教師と一緒に試している。 (主学) 音遊びを通して音の面白さに気付き、表情や発声で自分なりに表そうとしている。	「リズムや速度を意識して演奏しよう」	「リズムや速度を意識して演奏しよう」 ・音符や休符の確認、楽器の取り扱い方、演奏法を学習する。 ・簡単なリズム譜を見て演奏練習を行う。
	11	(知及技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (思判表力) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (学・人) 音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。	(知・技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きや表情で表したりしながら聴いている。 (思・判・表) 表現する音や音楽に気付き、表情や発声で自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽の楽しさを味わって聴いている。	「鑑賞しよう」	「鑑賞しよう」 ・平和学習、季節の音楽等の音楽が作られた背景や歴史をプリントやパワーポイント等で学習する。 ・動画教材を鑑賞し、感想等を発表する。
2 学期	18	(知及技) 教師や友達と一緒に声を合わせて歌うことができる。 (思判表力) 曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付き、自分なりに表すことができる。 (学・人) 教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に声を合わせて歌っている。 (思・判・表) 曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付き、表情や発声で自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動に興味をもち、教師と一緒に取り組もうとしている。	「友達の歌声や伴奏を意識して歌おう」	「友達の歌声や伴奏を意識して歌おう」 ・歌詞の意味や曲想についてプリントやパワーポイント等で学習する。 ・音楽記号等に気をつけて歌唱練習する。
	18	(知及技) 範演を聴き、模倣をして演奏することができる。 (思判表力) 様々な楽器に触れていく中で、自分に合った楽器や演奏方法を教師と一緒に見つけることができる。 (学・人) 打楽器の音色に関わり、教師や友達と一緒に演奏する楽しさに興味をもつことができる。	(知・技) 範演を聴き、模倣をして演奏しようとしている。 (思・判・表) 様々な楽器に触れていく中で、自分に合った楽器や演奏方法を教師と一緒に試している。 (主学) 打楽器の音色に関わり、教師や友達と一緒に演奏する楽しさに興味をもっている。	「音色や響きに気をつけて演奏しよう」	「音色や響きに気をつけて演奏しよう」 ・音符や休符の確認、楽器の取り扱い方、演奏法を学習する。 ・簡易学習を見て演奏練習を行う。 ・他パートの演奏や伴奏を聴いて合奏練習を行う。
3 学期	9	(知及技) 音階に関する知識を得ることができる。 (思判表力) 音階に関して得た知識を生かして、教師と一緒に簡単な旋律を作ることができる。 (学・人) 創作した曲を教師と一緒に級友に発表することができる。	(知・技) 音階に関するパワーポイントでの学習や教師の説明に興味をもち、目を向けたら、友達や教師の演奏を聴いたりしている。 (思・判・表) 本人なりに得た知識を生かして教師と一緒に簡単な旋律を作ろうとしている。 (主学) 創作した曲を教師と一緒に級友に発表しようとしている。	「旋律をつなげて短い曲を作ろう」	「旋律をつなげて短い曲を作ろう」 ・音階について、郷土の音楽や西洋音楽を鑑賞したり、プリントやパワーポイント等で学習し、ワンフレーズを創作する。 ・創作した旋律を級友に発表する。
	9	(知及技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (思判表力) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (学・人) 音や音楽の楽しさを味わい、興味をもって聴くことができる。	(知及技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (思判表力) 表現する音や音楽に気付き、表情や発声で自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽の楽しさを味わい、興味をもって聴こうとしている。	「曲想の違いを感じて鑑賞しよう」	「曲想の違いを感じて鑑賞しよう」 ・郷土の音楽や西洋音楽が作られた背景や歴史をプリントやパワーポイント等で学習する。 ・動画教材を鑑賞し、感想等を発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部1・3年（Ⅱ課程Bグループ） 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
90	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い、表現することができる。(中1段階A表現ア(1)) (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表した方を考えて、発想や構想することができる。(中1段階イ) (学・人)造形的な特徴などからイメージをとらえることができる。(中1段階共通(1))
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) 日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動を通して材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階A表現ア(1)) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階イ)	(知・技) 画材や道具を用いて用途にそって使おうとしている。 (思・判・表)画材や色を選び、単元を意識しつつ自分の好きなように描こうとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	モダンテクニック① ・ドリップング ・マーブリング ・コラージュ	・ドリップング 水で溶いた絵の具を水風船に入れて画紙を置いた画用紙に投げて割れてはじけ飛んだ色水で模様を描く。 ・マーブリング マーブリング液を垂らした水に段ボールや発泡スチロールを付け入れ模様を移し取る ・コラージュ 名前の入った紙や色を塗ったイラストや折り紙を画用紙に貼り付け大きいネームプレートを作る。
	10		(知・技) 折り方のパターンや障子紙に色が染み渡り混ざっていく様子を観察し混色について知ろうとしている。 (思・判・表)好きな色や折り方を選び、様々な模様を作ろうとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	染色(折り染めをしよう)	絵の具を水で溶いたものに様々な折り方をした障子紙を浸し広げることによって幾何学模様のような柄の紙を作る。
	6		(知・技) 道具の使い方や作り方の種類を理解し、用途にそって使おうとしている。 (思・判・表)作りたい物を意識して制作しようとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	粘土で作るわたしのすきなもの	陶芸用の土を使って好きな物を制作し置物やお皿などを作る。
	8		(知・技) 画材や道具を用いて用途に沿って使おうとしている。 (思・判・表)画材や色を選び、単元を意識しつつ自分の好きなように制作しようとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	季節の壁画づくり	様々な表現で季節に合わせた壁画を作る。
2 学期	10	(知及技) 日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動を通して材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階A表現ア(1))	(知・技) 画材や道具を用いて用途に沿って使おうとしている。 (思・判・表)作りたい物を意識しつつ自分の好きなように制作しようとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	けずってつくろう	発泡スチロールを紙やすりなどの道具を使って削り、自分が好きなものを立体作品として制作する。
	10	(思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができる(中1段階イ) (学・人)造形的な特徴などからイメージをとらえることができる(中1段階共通(1))	(知・技) 画材や道具を用いて用途に沿って使おうとしている。 (思・判・表)運動会を意識しつつ自分の好きなように制作しようとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	ポスターをつくろう (みんなに伝えよう！)	運動会のポスターを自分なりに応援する気持ちを込めて制作する。
	10		(知・技) 画材や道具を用いて用途にそって使おうとしている。 (思・判・表)描きたいことを意識して制作しようとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	版画(スチレン版画)	スチレンボードにペンや型、シールなどを使って凹凸を作り絵の具を塗って紙に移し取る
	8		(知・技) 画材や道具を用いて用途に沿って使おうとしている。 (思・判・表)描きたいことを意識して制作しようとしている。 (主学)完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	墨と筆で描く(目指せ雪舟！)	雪舟の作品を鑑賞した後、炭と筆を使って自分の好きなように水墨画を描く。

3 学期	16	(知・技) 日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動を通して材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階A表現ア(イ))	(知・技) 画材や道具を用いてよとに沿って使おうとしている。 (思・判・表) 今までに行った単元を意識しつつ自分の好きなように制作しようとしている。 (主学) 完成した作品を想像しながら楽しんで活動に参加しようとしている。	共同制作	生徒同士が力を合わせて今まで扱った単元を基に大型の平面作品を制作する。
	4	(思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができる(中1段階イ) (学・人) 造形的な特徴などからイメージをとらえることができる(中1段階共通(イ))	(知・技) 好きな作品に関心を示し、感想を表情や言葉で伝えようとしている。 (思・判・表) 鑑賞を通して好きな色や形に関心を示している。 (主学) 楽しんで活動に参加しようとしている。	鑑賞・作品集づくり	・鑑賞 「びじゅチューン」を鑑賞し様々な美術作品に触れる ・授業で制作した作品を一つにまとめる
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 II課程B 保健体育 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
78		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能 等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全 に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に 応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。</p> <p>(高等部2段階)</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	<p>(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができるようになる。(高2段階Aア)</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができるようになる。(高2段階Aイ)</p> <p>(学・人) きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができるようにする。(高2段階Aウ)</p>	<p>(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わっている。行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。(思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。</p> <p>(主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。</p>	<p>体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動 ・体力測定 	<p>いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動や仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って行う運動 ・サーキット ・ストレッチ <p>体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動の中から、一つのねらいを取り上げ、それを高めるための運動を効率よく組み合わせる行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10分間走、 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動
	12	<p>(知及技) 水泳の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けることができる。深く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法を高めて泳ぐことができる。(高2段階Dア)</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができるようになる。(高2段階Dイ)</p> <p>(学・人) きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができるようにする。(高2段階Dウ)</p>	<p>(知・技) 水泳の特性に応じた技能の理解している。目的に応じた泳法を身に付けている。深く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法を高めて泳ぐことができる。(思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。</p> <p>(主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。</p>	水泳	<p>水泳の特性に応じ、目的に応じた技能を自己の特性に応じた泳法や課題に挑戦すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深く ・進む→歩行、プル、キック ・呼吸(顔つけ) ・泳法の習得(長く泳ぐ、早く泳ぐ)
2 学期	14	<p>(知及技) 球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができるようになる。(高2段階Eア)</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができるようになる。(高2段階Eイ)</p> <p>(学・人) きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができるようにする。(高2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) 技術の名称や行い方などを理解しようとしている。仲間とともにゲームに参加している。(思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。</p> <p>(主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。</p>	球技(ターゲット型)	<p>ポッチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
	14	<p>(知及技) 球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、身体や用具を操作してボールを返球し、返球後に自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻る動きを身に付け、ゲームを行うことができるようになる。(高2段階Eア)</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができるようになる。(高2段階Eイ)</p> <p>(学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができるようにする。(高2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) 風船バレーボールの技能を理解している。身体を操作してボールを返球している。返球後に自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻る動きを身に付けている。(思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。</p> <p>(主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。</p>	球技(ネット型)	<p>風船バレーボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム練習 ・ゲーム

	8	<p>(知及技) 特性に応じた技能の理解を深めるとともに、身体やバット操作と走塁での攻撃、ポジションの決められた位置に戻ったりする動きを身に付け、ゲームを行うことができるようにする。(高2段階Eア) (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができるようにする。(高2段階Eイ) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができるようにする。(高2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) ベースボールの技能を理解している。身体やバット操作と走塁での攻撃、ポジションの決められた位置に戻ったりする動きを身に付けている。 (思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。</p>	球技（ベースボール型）	<p>ベースボール ・チーム練習 ・ゲーム</p>
3 学期	20	<p>(知及技) 特性に応じた技能の理解を深めるとともに、ボール操作と攻撃や守備の際に空間に走り込むなどの動きを身に付け、ゲームを行うことができるようにする。(高2段階Eア) (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができるようにする。(高2段階Eイ) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができるようにする。(高2段階Eウ)</p>	<p>(知・技) 車イスサッカーの技能を理解している。ボール操作と攻撃や守備の際に空間に走り込むなどの動きを身に付けている。 (思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。</p>	球技（ゴール型）	<p>車イスサッカー ・チーム練習 ・ゲーム</p>
		留意点 引継ぎ等			

令和5年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程B）職業 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
140	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中職業1段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中職業1段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中職業1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年		(知及技)【職業生活に必要な知識や技能について知ることができる】正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。(中1段階-A1ア㊟) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-A1イ) (学・人)働くために必要な力について知ることができる。(中1段階-A1ア)	(知・技)身だしなみを整えようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 (思・判・表)自分の担当する作業内容や必要な道具を理解しようとしている。 (主学)教室への入退室や仕事の始め終わりなど、必要な場面で挨拶している。	「職業の心得」仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、確認、協力、清掃、安全について。 「作業内容、目標について」作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について。	・作業中意識して欲しいことを、ミーティング時に復唱して仕事で大切なことを意識するようにする。 ・挨拶や報告など作業内容毎に立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。
1学期	48	(知及技)職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(中1段階-A1ア) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-A1イ) (学・人)職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。(中1段階-A1イ㊟)	(知・技)働くことの目的や授業の目標、活動内容を理解しようとしている。 (思・判・表)作業内容に見通しを持ちながら、目標や役割について考えようとしている。 (主学)気温に応じた服装や自分の体調管理について考えながら授業に望もうとしている。	「職業オリエンテーション」	・自己紹介 ・授業の目標確認 ・年間計画の確認 ・リーダーの決定 ・会社名決め ・看板作成
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。(中1段階-B1ア) (思・判・表)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。(中1段階-B1イ) (学・人)他者の発表を聞いて、自分以外の様々な考えに気づくことができる。(中1段階-C1イ)	(知及技)パソコンやiPad等の基本的な使い方を理解して使用している。 (思・判・表)商品広告や宣伝等で自分の活動内容や作品を他者に伝えようとしている。 (主学)他者の発表を聞いて、自分の意見との共通点や違いなどを見つけようとしている。	「名刺づくり」名刺注文受注・作成、注文の受け方、袋詰め、計算練習、挨拶練習、販売実践	・名刺の作成(デザイン決め、文字入力、画像挿入) ・注文の取り方 ・注文書やデザインのカタログ作成 ・仕入れの価格と販売価格を考えて、値段決定 ・商品プレゼン ・料金の受け取り方、商品の渡し方の練習 ・アプリや計算機を利用した計算練習 ・名刺の販売実践
2学期	60	(知及技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。(中1段階-A1ア㊟) (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。(中1段階-A1イ㊟) (学・人)挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組むことができる。(中1段階-A1ウ)	(知・技)播種や収穫など、作業内容や手順、必要な準備、片付けなどを理解し取り組もうとしている。 (思・判・表)使用する道具を安全に扱おうとしている。収穫する野菜を傷つけないようにするなど衛生について工夫して作業しようとしている。 (主学)作業内容を理解し、自主的に活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	「作物の栽培」水耕栽培(播種、間引き、施肥、収穫)、作業場の準備・片付け	・播種：細かな種を丁寧に撒く。 ・施肥：適切な場所に適切な量を散布できるようにする。 ・収穫：収穫に適した大きさなどを見極め、傷つけないように収穫する。 ・収穫した野菜を家族に届けることで、達成感を得られるようにする。 ・自主的に作業場の清掃、片付けができるようにする。
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。(中1段階-A1ア㊟) (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。(中1段階-A1イ㊟) (学・人)挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組むことができる。(中1段階-A1ウ)	(知・技)作業内容や手順、道具、機械等の扱いに慣れようとしている。 (思・判・表)使用する道具の安全性について考えようとしている。作業では材料を傷つけないように工夫して作業しようとしている。 (主学)作業内容を理解し、自主的に活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	「木工品製作」作業時の安全事項、工具・道具の使用法・管理、レーザー彫刻、コースター製作、キーホルダー製作、ベンチ製作	・工具、機械の使用法 ・安全確認 ・材料の準備 ・磨き ・組み立て ・仕上げ作業 ・レーザー彫刻デザイン検討 ・作業場の準備、片付け、清掃
3学期	32	(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ることができる。(中1段階-A1イ㊟) (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。(中1段階-A1イ㊟) (学・人)作業や実習等に達成感を得ながら活動に取り組むことができる。(中1段階-A1ウ)	(知・技)販売学習を経験し、給料等の仕組みについて関心を持つようとしている。 (思・判・表)販売する商品に対しての衛生面や作業の安全面を考え工夫しようとしている。 (主学)達成感を得ながら将来の職業生活をイメージしながら活動に取り組もうとしている。	「商品の模擬販売」内容の選定、商品準備(袋詰め、値段の設定、値札作成、チラシ作り)、接客、販売、お金の計算、振り返り	・包装やラベル作成 ・広告のデザイン ・値段の決定 ・値札作成 ・会計練習 ・販売時の挨拶練習 ・接客マナーの向上 ・1年間の振り返り
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 高等部1・3年(Ⅱ課程B) 家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書/副教材等	担当者名
17	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身につける。 (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、課題を解決する力を養う。 (学・人) 食事が果たす役割について理解し、健康に良い食習慣について考えることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 健康管理や余暇の過ごし方について知り、実践することができる。Aウ(ア) (思判表力) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを知ることができる。Aア(ア) (思判表力) (学・人) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にしている気持ちを通して育み、よりよい関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。Aア(イ)	(知・技) 歯磨きや手洗いを行う中で、簡単な身辺処理がわかり、実践しようとしている。 (思・判・表) 自分の成長の振り返りを通して、成長し変化していることを感じようとしている。 (主学) 家族への感謝の気持ちを表情や言葉等で伝えようとしている。	「家族・家庭生活」 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割 ウ家庭生活における余暇	「健康管理、歯みがき、手洗い、給食、」 ・生活習慣や生活リズム等の日常生活が健康に影響を及ぼすことが理解できる。 「自分と家族：母の日 父の日」 ・自分の成長や生活は、家族に支えられてきたことが分かり、感謝の気持ちを表す。
	6	(知及技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方を身に付けさせる。Bオ(ア) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した基礎的な調理の仕方について知らせる。Bイ(ア) (思判表力) 安全で健康、快適な視点から、生活の中から見いだした課題を解決する力を身に付けさせる。Bオ(イ) (学・人) 体験的な学習を通して、学習で身に付けた力を自らの生活に生かせるようにする。Bイ(ア)	(知・技) 片付けや掃除を手添えで行うことができる。 調理に必要な道具の使い方を覚え、安全に気をつけて調理できる。 簡単な作業を覚え、自ら手を動かすことができる。 (思・判・表) 汚れた洗濯物と洗った清潔な衣服の違いを感じ、 (主学) 仲間といっしょに調理を楽しむことができる。	「衣食住の生活」 ア食事の役割 イ調理の基礎 ウ衣服の着用と手入れ エ快適な住まい方	「整理・整頓・清掃」 ・生活する場所が、心身の安らぎと健康を維持する働きがあることを知り、掃除の仕方や整頓方法を学ぶ。 「洗濯」 ・洗濯方法や洗濯機の使い方を知る。 「調理実習」 ・行事食や郷土料理を作る。 ・楽しく食べるための工夫が必要であることに気付く。
2 学期	4	(知及技) ・家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方を身に付けることができる。Bオ(ア) (思判表力) ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した基礎的な調理の仕方について知ることができる。Bイ(ア) (学・人) 安全で健康、快適な視点から、生活の中から見いだした課題を解決する力を身に付けることができる。Bオ(イ)	(知・技) 整理・整頓を通して、快適で完全な住環境の大切さについて考え、行動しようとしている。 (思判表力) 調理に必要な道具の使い方を覚え、安全に気をつけて調理しようとしている。 (知人) 家族みんなが気持ち良く住むための工夫を考えている。	「衣食住の生活」 ア食事の役割 イ調理の基礎 ウ衣服の着用と手入れ エ快適な住まい方	「整理・整頓・清掃」 ・生活する場所が、心身の安らぎと健康を維持する働きがあることを知り、掃除の仕方や整頓方法を学ぶ。 「洗濯」 ・洗濯方法や洗濯機の使い方を知る。 「調理実習」 ・行事食や郷土料理を作る。 ・楽しく食べるための工夫が必要であることに気付く。
		(知及技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気づくことができる。Cア(ア) (思判表力) 物資・サービスの選択や購入についての課題を解決する力を身に付けることができる。Cア(ア) (学・人) 買い物を通して、金銭の保管の仕方を覚えたり、買い物に必要な言葉を使ったりすることができる。Cア(イ)	(知・技) 買い物とお金、仕事に関心をもっている。 (思・判・表) 予算を確認し、購入する商品を考えてようとしている。 (主学) 買い物学習を通して、自分から「これ、ください」と店員に向かって言うことができ、人との関わりを楽しもうとしている。	「消費生活・環境」 ア身近な消費生活 イ環境に配慮した生活	「消費生活：買い物、金銭の扱い」 ・販売学習をする。 ・購入計画を立てよう。 ・買い物学習をする。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程B）外国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
6		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (学・人)外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 (中学部段階)			
------	---	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	①(知及技)英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。(中2(1)ア) ①(思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。(中2(2)ア) ①(学・人)外国語を通して、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとすることができる。(中1(3))	①(知・技)英語であいさつをしている。 ①(思・判・表)あいさつに続けて、自分の体調などを伝えている。 ①(主学)英語で相手に伝わる音量でコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	①Greeting, date, day and weather	①あいさつ、曜日や日付など ・教師や友人と英語であいさつを交わす。 ・日付や曜日、天気を教師の後に言う。
2学期	2	②(知及技)英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ることができる。(中2(1)ア(イ)) ②(思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。(中2(2)ア) ②(学・人)外国語を通して、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとすることができる。(中1(3))	②(知・技)日本語の音声とローマ字で書かれた日本語の語句のカードをマッチングさせている。 ②(思・判・表)日常生活に関する簡単な事柄について、文字で伝えている。 ②(主学)日本の人名や地名などを探して読もうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	②the roman alphabet	②ローマ字を覚えよう ・音声とローマ字のカードをマッチングさせる。 ・身近な事物を表すローマ字表記を読む。 ・自分の名前をローマ字で書く(なぞり書き→見本を見て)。
3学期	2	③(知及技)英語の音声を聞き、基本的な表現を真似て話すことで、相手に伝わることを感じ取ることができる。(中2(1)ア(ウ)(ウ)) ③(思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。(中2(2)ア) ③(学・人)外国語を通して、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとすることができる。(中1(3))	③(知・技)モデルの自己紹介にならって声を出し、練習している。 ③(思・判・表)伝えたいことを考え、基本的な表現を使って伝えている。 ③(主学)英語で相手に伝わる音量でコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	③Nice to meet you	③自己紹介・他己紹介 ・教師の自己紹介を聞く。 ・自己紹介のパターンを練習する。 ・ペアで自己紹介を行う。 ・先の自己紹介の内容を使って、クラスの前で他己紹介を行う。

留意点 引継ぎ等					
-------------	--	--	--	--	--

令和5年度 高等部 1・3年（Ⅱ課程B） 情報 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
15		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等の初歩的な操作の仕方を知る。(中職業分野1段階) (思判表力) 情報機器に触れ、体験したことなどを他者に表現することができる。(中職業分野1段階) (学・人) 様々な活動の場面で情報機器等に意欲的に触れることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等に触れ、返事や挨拶をしている。 (思判表力) 情報機器等で音楽や動画を視聴した際に好き嫌いを表情等で表現している。 (学・人) 教師の支援を受けながら、自ら情報機器に触れ、操作しようとしている。	(知・技) 教師の支援を受けながら適切なタイミングで情報機器に触れ、操作することができる。 (思・判・表) 情報機器等による音楽、動画視聴に対して、表情や発声等で好き嫌いを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながらタブレット等の情報機器に自ら手を動かして触れようとしている。	「情報機器を活用し、表現しよう」	「情報機器を使おう」 ○朝の会や帰りの会の司会、授業の挨拶をタブレット等で行う。 ○タブレット等で好きな画像や音楽、動画を選び、視聴する。 ○タブレット等のカメラ機能で写真や動画の撮影を行う。
2学期	6	(知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等に触れ、返事や挨拶をしている。 (思判表力) 情報機器等で音楽や動画を視聴した際に好き嫌いを表情等で表現している。 (学・人) 教師の支援を受けながら、自ら情報機器に触れ、操作しようとしている。	(知・技) 教師の支援を受けながら適切なタイミングで情報機器に触れ、操作することができる。 (思・判・表) 情報機器等による音楽、動画視聴に対して、表情や発声等で好き嫌いを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながらタブレット等の情報機器に自ら手を動かして触れようとしている。	「情報機器を活用し、表現しよう」	「情報機器を使おう」 ○朝の会や帰りの会の司会、授業の挨拶をタブレット等で行う。 ○タブレット等で好きな画像や音楽、動画を選び、視聴する。 ○タブレット等のカメラ機能で写真や動画の撮影を行う。
3学期	3	(知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等に触れ、返事や挨拶をしている。 (思判表力) 情報機器等で音楽や動画を視聴した際に好き嫌いを表情等で表現している。 (学・人) 教師の支援を受けながら、自ら情報機器に触れ、操作しようとしている。	(知・技) 教師の支援を受けながら適切なタイミングで情報機器に触れ、操作することができる。 (思・判・表) 情報機器等による音楽、動画視聴に対して、表情や発声等で好き嫌いを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながらタブレット等の情報機器に自ら手を動かして触れようとしている。	「情報機器を活用し、表現しよう」	「情報機器を使おう」 ○朝の会や帰りの会の司会、授業の挨拶をタブレット等で行う。 ○タブレット等で好きな画像や音楽、動画を選び、視聴する。 ○タブレット等のカメラ機能で写真や動画の撮影を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1年（Ⅱ課程B） 道徳 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
6		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。(A 主として自分自身に関すること)	・自分の夢や目標について考え、自己向上のための目標を設定している。 ・苦手なことに対する向き合い方について考え、自分なりの方法(手立て)で改善に向けて取り組んでいる。	「向上心、個性の伸長」	・1学期の個人目標を立てる。
	1	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・働くことの意義や喜びについて理解し、考えている。 ・社会における自分の役割や将来の生き方について考え、生活の中で意識した取り組みをしている。	「勤労について考えよう」	・前期生活・就業体験に向けて意識する。 ・生活習慣の見直しをする。 ・職業生活について考える。
	1	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重する。(D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)	・沖縄戦や郷土の歴史を学習し、命の尊さ、郷土の文化について考えている。 ・生命はかけがえのないものであり、生命の大切さをより強く自覚し、大切にしようとする気持ちを持っている。	「生命の尊さ」 「よりよく生きる喜び」	・平和学習をする。 ・慰霊の日に向けて、沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や命の大切さについて再確認する。 ・命について考える。
2 学期	1	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高める。(B 主として人との関わりに関すること)	・相手の立場に立った行動の大切さに気づき、それぞれの違いを尊重し相手を思いやる心について自己の考えを深め、表現している。 ・自分の意見を大切にしながらも、自分と異なる意見に触れ、新しい見方や考え方を持っている。	「相互理解、寛容について考えよう」	・世界エイズデーについて知る。 ・LGBTについて学ぶ。 ・障害者差別解消法を学ぶ。
	1	社会参画の意義と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・約束やきまりはみんなが気持ちよく生活するためにあることがわかり、話し合いを通して様々な意見を聞き、法やきまりを守るために大切にしたい自分なりの考えをもち、思いを伝えている。 ・身の回りの公共物や公共の場所は、どのように使ったり、過ごしたりすればよいのかを考え、行動している。 ・情報モラルについて学び、自身の生活の中で意識した行動をしている。	「社会参画と公共の精神について学ぼう」	・共生について考える。 ・校外学習で、公共機関や公共の施設を利用するときのルールとマナーについて学ぶ。 ・情報モラルについて学ぶ。
3 学期	1	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気もち、困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる。(A 主として自分自身に関すること)	・1年間を振り返り、がんばったことや課題点を理解し、改善に向けて取り組んでいる。 ・達成感について考えている。 ・これからの課題や目標を見つけ、言語活動による表現をしている。	「勇気と希望、克己と強い意志」	・自己の1年間を振り返り、次年度及び卒業に向けた目標を設定、意識した生活が行えるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和 4年度 高等部1・3年(Ⅱ課程B) 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 (思判表力)交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共に共に行ったりする集団活動を通して生徒の経験を広め、自己実現や社会参画のための課題を見だし、解決に向かって取り組むことができる。 (学・人)人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。				
------	---	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		(知及技) 厳粛で清らかな気分を味わわせ、新たな生活展開への動機付けとすることができる。 (思判表力) 進路を見据え、卒業するまでに必要な力、この1年間でつけたい力を考えさせ、目標を立てることができる。 (学・人) 行事を楽しむことができる。	(知・技) 儀式的行事への関心を高め、積極的に参加している。 (思・判・表) 進路やこれからの生活について目標を確認しながら立てようとしている。 (主学) 行事などを通して、学級以外の友達とも交流している。	・始業式 ・入学式 ・身体測定 ・学級開き ・新入生歓迎会	学校行事(1)儀式的行事 学級活動(1) ・学級開き(学級目標等を考える) 生徒会活動(1) ・児童生徒委員会 ・図書室の利用(読書活動)
		(知及技) 平和への意識を高められるようにする。 (思判表力) 就業体験に対する意欲を高める。 (学・人) 目標を振り返り、過ごし方について意識できるようにする。	(知・技) 写真や映像を見て平和について、知ろうとしている。 (思・判・表) 就業体験事前事後学習に参加。 (学・人) 1学期を振り返り、できたことやがんばったことなどを発表しようとしている。	・生徒総会 ・就業体験にむけて ・歯と口の衛生週間 ・平和学習 ・1学期の反省 ・終業式	学級活動(1) ・児童生徒総会 ・前期就業・生活体験に向けて ・図書室の利用(読書活動) 生徒会活動(1) ・児童生徒委員会 ・夏休みの過ごし方 ・学級清掃
2 学期		(知及技) 2学期の目標を立て、見通しをもたてるようにする。 (思判表力) 平素と異なる生活環境で見聞を広め、自然や文化に親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳についての体験を積むことができる。	(知・技) 学期の活動の見通しを持つことで、2学期の目標を立てようとしている。 (思・判・表) 公共マナーや集団行動の在り方を学習する。	・始業式 ・2学期の目標 ・修学旅行	・いじめ防止授業 ・図書室の利用(読書活動) 学校行事(1)文化的行事 ・修学旅行に向けて
		(知及技) 日頃の学習の成果を発表し、自己の向上の意欲を高められるようにする。 (思判表力) 選挙について理解できる。 (学・人) 社会人になるための心構えやマナーを身に付けられるようにする。	(知・技) 協力して運動会を成功させようと練習に参加している。 (思・判・表) 選挙の仕組みについて学び、運営に関わろうとしている。 (主学) 進路について考え、自習先でのマナーを身に付けようとしている。	・運動会 ・生徒会長選挙 ・卒業後の生活にむけて ・お楽しみ会 ・終業式	学校行事(1)体育的行事 生徒会活動(1) ・児童生徒委員会 ・後期就業・生活体験に向けて ・図書室の利用(読書活動) ・後期就業・生活体験事後学習、まとめ ・冬休みの過ごし方 ・キャリアパスポート
2 学期		(知及技) 新年を迎えるにあたって目標を立てることができる。 (思判表力) 生徒会の運営に携わり、皆で協力する意識を高める。 (学・人) 1年間を振り返るとともに、生徒が進路について考え、適性を知ることができる。	(知・技) 2学期を振り返り、新年の目標を立てようとしている。 (思・判・表) 生徒会の一員として生徒会活動に参加している。 (主学) 進路やこれからの生活について考えている。	・始業式 ・新年の目標・生徒総会 ・3年生を送る会 ・1年間の反省 ・卒業式 ・修了式 ・離任式	学級活動(1) 学校行事(1)儀式的行事 生徒会活動(1) ・児童生徒委員会 ・児童生徒会役員選挙告示 ・キャリアパスポート ・図書室の利用(読書活動) ・児童生徒生徒会役員選挙演説・投票 ・卒業生を送る会・卒業・進級に向けて ・1年間を振り返る
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 高等部 1・3年（Ⅱ課程B） 総合的な探求の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35		

年間目標		<p>（知及技）探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 （思判表力）実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	<p>（知及技）卒業後の進路について知ることができる。 （思判表力）卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）自分の進路についての学習に意欲をもって取り組むことができる。</p>	<p>（知・技）卒業後の進路について知っている。 （思・判・表）卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えている。 （主学）自分の進路についての学習に意欲をもって取り組んでいる。</p>	「あわせパスポート」に取り組もう	<p>「キャリアパスポート」に沿って、1学期始めに、学期目標を立てる。</p> <p>「キャリアパスポート」に沿って、1学期終わりに、振り返りを行う。</p>
	12	<p>（知及技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。</p>	<p>（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>職業や自己の将来に関する課題 「就業・生活体験」</p> <p>【向上心、個性の伸長】</p>	<p>・前期就業・生活体験（校内実習含む） ・事前事後学習及び報告会</p>
2 学期	12	<p>（知及技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。</p>	<p>（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>職業や自己の将来に関する課題 「就業・生活体験」</p> <p>【向上心、個性の伸長】</p>	<p>・後期就業・生活体験（校内実習含む） ・事前事後学習及び報告会</p>
	3	<p>（知及技）交流学习等を通し、近隣校や小中学校等の生徒の様子を知ることができる。 （思判表力）他校の生徒や初対面の人との自分なりのかかわり方を考え、表現することができる。 （学・人）互いのよさを生かしながら、積極的に他者とかわり合おうとすることができる。</p>	<p>（知・技）交流学习等を通し、近隣校や小中学校等の生徒の様子を知っている。 （思・判・表）他校の生徒や初対面の人との自分なりのかかわり方を考え、表現している。 （主学）互いのよさを生かしながら、積極的に他者とかわり合おうとしている。</p>	<p>地域や学校の特色に応じた課題 「交流・共同学習」</p> <p>【相互理解、寛容】</p>	・中部農林高校との交流
3 学期	5	<p>（知及技）卒業後の進路について知ることができる。 （思判表力）卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）自分の進路についての学習に意欲をもって取り組むことができる。</p>	<p>（知・技）卒業後の進路について知っている。 （思・判・表）卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えている。 （主学）自分の進路についての学習に意欲をもって取り組んでいる。</p>	「あわせパスポート」に取り組もう	<p>「キャリアパスポート」に沿って、1学期始めに、学期目標を立てる。</p> <p>「キャリアパスポート」に沿って、1学期終わりに、振り返りを行う。</p>
留意点 引継ぎ等					